

予算決算

消防団員の負担軽減と安全確保を図る 雨衣の購入費及び北黒田海岸整備費などを可決

一般会計補正予算

◎総務部所管

問 装備配備基準により、消防団の雨衣（あまい）を更新するのか。

答 基準はなく、劣化状況を確認している。購入については以前から検討していたところ、コミュニティ助成事業で補助金がついたことにより計上した。

意見

実災害での使用頻度も高く、消耗品である。3年で更新する自治体もある。今後、消防団の装備の基準を決め、計画的に適正な配備を行ってほしい。

答 基準等の作成については今後研究していきたい。

意見 更新する雨衣の品質は適正か。現在のものより、厚手で高機能なものに変更し、消防団員の怪我の防止に努めたい。

答 消防団で未使用のものがされば、職員用の予備として雨衣の使用を考えてみてはどうか。

◎産業建設部所管

問 北黒田海岸整備事業の移転用地樹木等撤去業務について、現地確認すると、ごみやドラム缶が放置されており、環境が悪い。

答 町有地を管理する上で、できるだけ早くきれいにしたいのか、それとも、次に使う段階を考えて整備をするのか。

意見 現地は、樹木が生い茂り、中に入れないような状況にもなっている。指摘のとおりごみ等の不法投棄もされている。

答 町としては、移転用地として、事業者の方が希望されたこの機会に、まず、町有地の状況を確認する必要があると考え、整地等を含め予算計上した。



町有地の整備を行う「いりこ加工工場移転用地」

意見 事業内容が「町有地の整備」であれば「北黒田海岸整備」事業名を変更しないのか。

答 最終的には、北黒田海岸整備のために「いりこ加工工場」を移転してもらうのが目的であるため、事業名は妥当と考えている。

一方、参考資料を「いりこ加工工場の移転に向けて移転先の町有地を整備します」と修正する。

問 浜交差点の整備事業は、今年度中に完成するのか。

答 完成するまでの予算は確保しており、町の下水道工事が終われば、県が道路の側溝や舗装の工事に入る。今年度の完成を目指し工事を進めている。

◎教育委員会所管

問 今年度、学校の臨時休業による、児童・生徒の給食費を負担した実績は。

答 4月1日から9月7日の間に8回学級閉鎖をしており261人分、7万820円になる。感染の収束が見通せない状況であり、この補助金を活用して保護者の皆さんのが負担軽減に努めていく。